

# 総社宮へ「みにこん?祭」

文化による備中のまちづくり・祭づくり

堀家住宅の利用を考える会 代表 林 正実

木原村下(むらげ)技師長の合図で、怪獣の息吹にも似たフイゴからの送風が止まった。平成7年1月早朝。奥出雲にある「日刀保(ひなぼ)たら」\*の高殿(たかどの)における「たたら操業」へ初めて入っていた。約70時間の炎との闘いは終わった。まだ暗い外の山々には静かに雪が降っている。しかし送風管の脇に立つ木原村下の身体からはまだ何か青い炎のようなものが立ち昇っているように思われた。



総社宮へ「みにこん?祭」の境内西地区で展示した陶芸作品

役の国立民俗学博物館教授(当時)の端(はな)信(のぶ)行(ゆき)さん(さん)に支えられよう歩いておられる。しかし、静かに語る先生のお姿からは、オーラのようものが立ち昇っているように思えたものだ。これが文化なのだろうか。われわれは、文化によって吉備のこの地域を元気にしたいと思ってきた。その実現のため、平成8年4月にまず「鬼ノ城(おにのしろ)たたら倶楽部」を立ち上げ、続いて「鬼ノ城塾(おにのしろじゆく)・吉備文化交流会」・「日韓地域づくり協会」と順次発足させてきた。さらに、総社市に寄付された江戸時代の豪商・堀家の再生と活用方法を考えることを目的に「堀家住宅の利用を考える会」の活動を始めたのは備中の文化関係諸団体が集まり、「まちづくり」についての提言と実践を行うための基地づくりのため。その調査と研究の成果を平成16年2月、「総社市・堀家と旧市街地への構想計画」としてまとめ、総社市に提出した。そして、さらに多くの地域住民の支持を得るため企画したのが、備中総社宮の境内全域を使って行うアートによる新しい祭りづくり「みにこん?祭」なのです。考えるのと動くことが同時という実行力溢れる会のメンバーたちが、ふと気づいたのは「これは金がかかることだなあ。」ということ。これまでのように会員の負担だけでいいことではないぞ。すると誰かが「福武文化振興財団があるのだ」と言った。それやろう、すぐやろうと申請用紙を持ち込んだのが締め切り当日の夕方というあ

が、備中総社宮の境内全域を使って行うアートによる新しい祭りづくり「みにこん?祭」なのです。考えるのと動くことが同時という実行力溢れる会のメンバーたちが、ふと気づいたのは「これは金がかかることだなあ。」ということ。これまでのように会員の負担だけでいいことではないぞ。すると誰かが「福武文化振興財団があるのだ」と言った。それやろう、すぐやろうと申請用紙を持ち込んだのが締め切り当日の夕方というあ

わただしさ。何とか申請は認められ、助成金を当て込むことで「みにこん?祭」はスタートできた。京都以西の56名の作家の作品が境内いっぱい展示され、夜はロウソクの灯りでジャズ・雅楽等の演奏やワークショップなどなど、多彩な催しで、9月26日盛況のうちに終了した。本当に助成金あつての「みにこん?祭」と感謝しております。文化って金も必要、と再認識した次第。本当にありがとうございます。した。

※日刀保(ひなぼ)たら日本美術刀剣保存協会  
募集要項、当財団のHPを参照。問い合わせ 福武文化振興財団まで  
◆英語教育がやや過熱状態ですが、昨年11月の教育講演会で、松畑先生は、英語教育のあるべき姿を示されました。英語教育が単なる「流行」に流れないような教育活動が期待されます。◆IT教育もまた「流行」ですが、心を育てることを目指した鳥越先生の実践は、IT教育の基本的なあり方を示しているように思えます。  
◆IT教育については、高旗理事が16年度の海外教育事情調査の報告の中でも述べられています。行き当たりばったりでないシンガポールのIT教育から、岡山のIT教育はどのような示唆を得られるでしょうか。  
◆寄稿いただいた林さんの文章からは、積極的に地域の文化活動に取り組む人たちの生き生きとした姿が髣髴(はなづか)され、「文化」の本質を感じさせられます。  
◆感性豊かな丹羽さんの文章をお読みに、直島地中美術館を訪れたくなる方も多いかと思えます。ここには積み上げられた最高の「文化」があります。  
◆新しい年を迎え、新しい文化が花開くよう、子どもたちが優しい人に育つよう願っています。(古市)

# 不易

## 第21回教育講演会・第17回教育研究発表会

福武教育振興財団は、「おかやま教育の日」の協賛事業として、11月27日、ヒュアリーテイマキビで、教育講演会と教育研究発表会を開催いたしました。

### 英語教育の本質に触れる松畑熙一先生

教育講演会は、岡山大学副学長の松畑熙一先生を迎え、「コミュニケーション能力の育成ー英語教育と国際理解教育の接点を求めてー」という演題で講演

をしていただきました。先生は、日本と欧米の社会や文化の違いを広い視野から取り上げられ、言語の違いは人間や社会の違いであることに言及されながら、今、英語を学ぶことの意味をお話しになりました。概要は以下のようでした。「現代の教育の課題は孤立した人間を回復することであり、そのためのコミュニケーション能力の育成が求められている。コミュニケーション能力とは、他者とつながる力であり、そのためには、耳と目と心加わった「聴く」ことの能力が

重要だ。他者・異文化と積極的につながるというコミュニケーションマインドが基本であり、それを英語教育・国語教育・国際教育を通して育てなければならぬ。

### 4分科会 12組が発表

教育研究発表会では、昨年度福武教育振興財団から助成を受けた65件の研究および活動の中から10組、岡山県国際理解教育研究会および岡山県海外教育文化研究会からそれぞれ1組、計12組が発表を行いました。

参加者からも熱心な質問が出されたり、活発な意見が交わされたりしました。なお、このたびの教育講演会・

教育研究発表会を行うに当たって、ご協力いただきました岡山県教育振興会、岡山県なでしこの会(以上共同主催)、岡山県教育工学研究協議会、岡山県海外教育文化研究会、岡山県国際理解教育研究会(以上共同主催)、ならびに岡山県教育センター、岡山県情報教育センターの関係の方々に厚くお礼申し上げます。(下山)

「幅広い話題で勉強になった。」と感想をいただきました。(笠井)



教育研究発表会第4分科会の発表の様子



平成16年度 第21回教育講演会 第17回教育研究発表会

「現代の教育の課題は孤立した人間を回復することであり、そのためのコミュニケーション能力の育成が求められている。コミュニケーション能力とは、他者とつながる力であり、そのためには、耳と目と心加わった「聴く」ことの能力が

重要だ。他者・異文化と積極的につながるというコミュニケーションマインドが基本であり、それを英語教育・国語教育・国際教育を通して育てなければならぬ。

### 第17回教育研究発表会プログラム

- ◆第1分科会
  - 珍部 瑞枝(作陽保育園)
  - 尾島 正敏(学力ステップアップ研究会)
  - 高山 学(岡山市立旭東小学校)
- ◆第2分科会
  - 塩飽 修身(笠岡市立北木中学校)
  - 末廣 聡(岡山県立備前緑陽高等学校)
  - 藤田 学(岡山県立興陽高等学校)
  - ボランティア・バンク
- ◆第3分科会
  - 明樂 五月(瀬戸内市立美和小学校)
  - 延原 宏・木梨 友美(美作ネットワーク協議会)
  - 藤代 昇丈(岡山英語教育パイオニア)
- ◆第4分科会
  - 石井 聡(岡山県東部地区情報教育研究会・御津グループ)
  - 三村 喬士(岡山県国際理解教育研究会)
  - 田部 永子・佐々木 謙二・西村 直昭(岡山県海外教育文化研究会)



随想

い自然光を反射していた。モネの睡蓮の世界に吸いこまれていた。たゆたう水に心癒され、水面の幻想の世界と色彩にひた



建築家 丹羽 英喜

あいにくの雨だった。岡山から乗りこんだ宇野線の列車は定刻になっても動こうとはしなかつた。あいつぐ台風上陸の影響がまだ続いていた。茶屋町駅のホームで待っていた乗換えの人々をマリライナーが吸い込み発車した。ゆつくりと動き出した。雨に濡れた車窓に児島湖の景色が重なり、後方へ移動していく。

直島地中美術館を訪ねて

建築家 丹羽 英喜

「睡蓮の池」の前に裸足で座っていた。床のピアノカラーラがひんやりと気持良かった。砂浜の白い壁は雨雲の柔らか

雨空の天窓からのかすかな光が睡蓮の池に反射し、花が白、黄とゆれる。モネがジヴェールの庭の睡蓮の池で生き生きと描ききつたものを九十年の歳月をへだてて今感じることが出来る。福武理事長が照明をつけてくれた。池の水が輝きを増し、花が鮮やかに色づき、暖かみを増した。

「ウォルター・デ・マリア室」はまさに現代の神殿だと感じた。何故かギリシアのエーゲ海のミノス島、サントリニ島での体験を思い出した。瀬戸内海というかけがえのない風景の中の地中美術館で「感覚を思考に、思考を感覚に」して自分自身を見つめ、よりよく生きるには何かを考えさせられた。近いうちに、今度は晴れた日に訪れ、瀬戸内の海と太陽の光に満たされた作品と語りあい、心と身体で感じ、至福の時をすごしたい思いで直島を後にした。

(福武文化振興財団 評議員)

平成15年度 文化関係助成対象者による文化発表会

福武文化振興財団は、平成16年9月16日(木)に岡山市内のホテルで「文化発表会」を行いました。昨年度文化関係助成を受けた49の文化団体のうち、16の個人・団体が、1年間の活動の成果を参加者約160人を前に披露いたしました。

ステージ発表では、犬島の石の行方を調査研究している「犬島再発見の会」の発表、「おはなしや」の皆さんによる人形と影絵による語り『雪女』の実演をはじめ、それぞれの個人・団体の活動についての発表がありました。



【御津リコーダークラブ】による演奏

- ステージ発表
1 御津リコーダークラブ
2 犬島再発見の会
3 メダカをふやそう会
4 おはなしや
5 岡山県和算研究会
6 artspaper!! <アートペーパー>
7 蚕くらぶ
■展示発表
1 おかやまアートファーム
2 岡山桃太郎と鬼研究会
3 劇的集団 転機と砲
4 倭文の歴史と文化を語る会
5 藤酔会
6 童謡とつくこの会
7 ニュータウンアートタウン展実行委員会
8 非営利組織建築再生会議
9 ララ・ナシカーテマンドリンククラブ



【劇的集団 転機と砲】による展示



ブルネイ教育省を訪問して

海外教育事情調査

シンガポール・ブルネイ調査

平成16年度福武教育振興財団海外教育事情調査団は、10月3日から一週間、シンガポールとブルネイのIT教育の現場を訪問調査した。シンガポール教育省で、世界で最先端を行くとされるシンガポールIT教育改革の全体像について説明を受けた後、3日間にわたって、国内の幼小中等学校、総合技術学校(Polytechnic)さらに教育研究所(National Institute of Education)を訪問した。

中国短期大学 教授 高旗 正人



シンガポールのIT教育は幼稚園のe-learningに始まり、小中等学校において組織的に実践されている。しかし、「IT科」という教科はない。各教科や特別活動で教師が積極的創造的にITを活用するという方針である。整備された教育研修所で培われた教師の高い力量によって、ITによる教育実践現場は展開しているのである。

この度はIT活用教育に関する教育研究助成をいただき誠にありがとうございます。心より感謝いたしております。私の担当であります教科「商業」では、早くから授業にコンピュータを取り入れ「情報処理」などの学習を行ってきました。学習内容も時代の要請やビジネス社会のニーズに合わせて進化を遂げています。これからいかなる状況になろうとも情報教育を適切に推進することは、いち早くこうした教育に取り組んできた教科「商業」の責務であると考えています。

高等学校教科「商業」での情報教育

岡山県立琴浦高等学校 教諭 鳥越 修

生徒が卒業後かわる実社会

は日々激変しており、正確な情報に基づき迅速に行動することがいっそう要求されています。そのような状況下でビジネスの諸活動を円滑に進め、豊かな人生を送るためには、できるだけ早い段階から情報を適切に扱うことのできる能力やコミュニケーション能力など「生きる力」を身に付けていくことが必要不可欠です。

今後、微力ではありますが、多くの方々にご指導をいただきながら、日々生まれる新しい考え方や技術を授業にうまく取り入れ、人として生きていく上で大切な、豊かな人間性や社会性を育てるための教育を実践していきたいと思っています。